

### 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2010年から2015年24週までの年別届出数は、2010年8例、2011年6例、2012年16例、2013年12例、2014年7例、2015年1から24週14例だった。2015年はすでに2014年の年間届出数の2倍の届出があったため、2010年から2015年24週に届出された63例の発生状況をまとめた。

性別では、男性41例(65.1%)、女性22例(34.9%)と男性に多かった(表1)。

年齢群別では、60代から80代が45例で71.4%を占めた(表1)。

診断月別では、1月、6月に多かった(図1)。

分離された溶血性レンサ球菌の血清群別では、A群36例(57.1%)、G群18例(28.6%)、B群4例(6.3%)、C群1例(1.6%)、不明4例(6.3%)と報告された(表2)。

症状等として記載があったのは、ショック59例(93.7%)、腎不全47例(74.6%)、DIC41例(65.1%)、軟部組織炎38例(60.3%)、中枢神経症状18例(28.6%)、肝不全16例(25.4%)、急性呼吸窮迫症候群16例(25.4%)、全身性紅斑性発疹9例(14.3%)だった(複数報告あり)。

表1 2010年～2015年24週千葉県の劇症型溶血レンサ球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
性別	男性	6	3	12	5	4	11	41
	女性	2	3	4	7	3	3	22
年齢群	5歳未満	0	0	1	0	0	0	1
	5～9歳	0	0	0	1	0	0	1
	10代	1	1	0	0	0	0	2
	20代	0	0	0	0	0	2	2
	30代	0	0	1	1	0	0	2
	40代	0	2	1	1	1	0	5
	50代	1	0	1	1	0	1	4
	60代	3	2	5	5	0	4	19
	70代	2	0	5	2	5	2	16
	80代	1	0	2	1	1	5	10
	90代	0	1	0	0	0	0	1
	合計		8	6	16	12	7	14

図1 2010年～2015年24週千葉県の劇症型溶血性レンサ球菌感染症 診断月別届出数

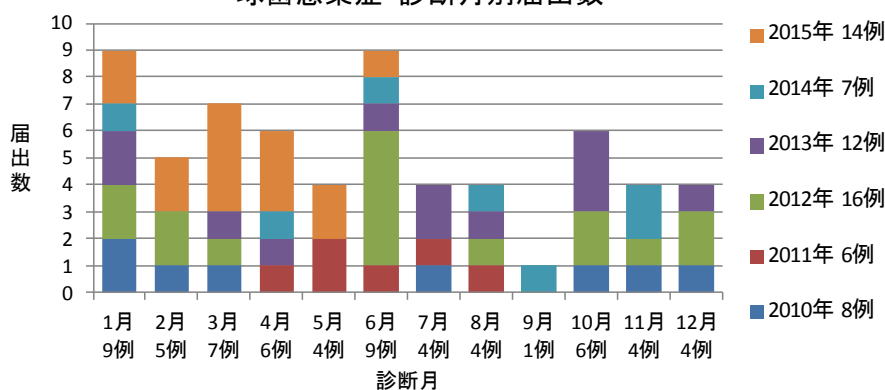


表2 2010年～2015年24週千葉県の劇症型溶血レンサ球菌感染症 年別・血清群別届出数

血清群	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	合計
A群	6	4	10	4	2	10	36
B群	0	0	0	2	1	1	4
C群	0	1	0	0	0	0	1
G群	2	1	4	5	3	3	18
不明	0	0	2	1	1	0	4
合計	8	6	16	12	7	14	63